

出場申込 只今 受付中！

1. 出場申込

- ・申込用紙の提出
メール、FAX、郵送などでお送り下さい
- ・「出場中」幟旗、ポスター配布

2. 新企画！地区予選大会

- ・札幌、仙台、東京、名古屋、京都、岡山、福岡（予定）
- ・全国7ヵ所で開催。全出場団体による取り組み発表（プレゼンテーション）と質疑
- ・出場者代表による投票および専門委員による審査
- ・審査講評と質疑
- ・地区最優秀団体、優秀団体の選考

《直売人交流会》

- ・出場団体による農産加工品の持ち寄りなどの情報交換会

《展示会》

- ・協賛企業による備品、資材、消耗品、情報等の展示

3. 現地訪問

審査委員による地区優秀団体の現地視察

4. 決勝大会

- ・開会宣言
- ・出場団体選手宣誓
- ・プレゼンテーション
- ・審査委員による質疑
- ・出場団体代表による投票と審査委員による審査
- ・審査講評
- ・表彰式

《直売人交流会》

- ・農産加工品の紹介
- ・入場団体の紹介
- ・情報交換会

《展示会》

- ・協賛企業による備品、資材、消耗品、情報等の展示

道志所甲子園 出場申込書

送付先 FAX **03-5913-2628** メール **venet@nifty.com**

施設名	ふりがな			
開業年月日	S・H	年	月	日
住所	〒	ふりがな		
		都道	府県	
電話番号	()	-	FAX番号	() -
ホームページ	http://www.			
応募担当者 (連絡の取れる方)	ふりがな		担当者メールアドレス	
			@	
面積	敷地面積		全施設面積	売場面積
		m ²	m ²	m ²
付属施設	(飲食、加工、体験などを記入して下さい)			
販売データ	年間来客	農家売上／年間売上	出荷農家数	出場料
	人	円	戸	円

自己PR記入欄：生産組織、担い手対策、販売企画、消費者教育などにわけ、個性と特長を記述して下さい。別紙可。

直売所甲子園

2015

テーマ 「個性と特長」

「驚き」「自慢」「得意」…そして日々の「取組」を持ち寄ろう
大型施設は総合力で、小さな直売所は際立つ特長で。



**出場申込
受付中!**

申込締切 **2015年7月15日**

地区予選大会 **2015年8～9月**

決勝大会 **2015年11月16日、17日**

主催 **全国直売所研究会**

実施要領



目的

農業の6次産業化の成果のうち、生産者と販売者が協働する直売所の売上高は約8500億円、これにかかわる生産者は約100万人と推定できます。農村から起こった、この新しい流通を産業として発展させなくてはならない、と全国直売所研究会では考えています。

直売所甲子園の開催は、全国の直売所が、地域の個性を農産物に託し、消費者から信頼を得ている事例を自らの手で公表し、参加者同士がより深く直売所について学び、発展の方向を発見することを目的とします。

実施日程

申込締切 2015年7月15日

所定の様式に今までの成果、日々の取組を記述します。

出場料(出荷者数により変わります)

基本料 5,000円 + 51人目からの実質出荷者数 × 100円 上限 30,000円 * 出場申込後に請求書を発送いたします。

地区予選大会 2015年8月～9月 *会場費・資料費は各会場別に実費(1人1000円程度)をご負担ください。

札幌、仙台、東京、名古屋、京都、岡山、福岡(予定)

全国7ブロックに地域を分け、出場申込者が一堂に集まり、お互いの取り組みを発表します。

審査委員、出場者代表の投票と書類審査により地区最優秀団体、優秀団体を選びます。

同時に、それぞれの直売所での人気農産加工品を持ち寄り、情報交換を行います。

現地訪問 2015年9月

審査委員・実行委員による地区優秀団体の視察

決勝大会 2015年11月16日、17日 *会場費・資料費(予定)…5000円 *直売人交流会費…5000円

地区優秀団体のなかから、総合的に優れている施設、際立った個性のある直売所、地域の特長を生かしている直売所など、代表として選ばれた12～15ヵ所の直売所が取り組みを発表し、その内容を審査し優勝団体、部門優勝団体を表彰します。

表彰

優勝1点、部門優勝5点 賞状・賞品・賞金(総額100万円)

審査委員からの講評と受賞者の発表。いままで数々の感動のドラマが生まれました。

直売所資材展示会(決勝大会・地区予選大会と同時開催)

直売所に必要な備品、資材、消耗品、情報等を協賛企業が展示します。

主催

直売所甲子園実行委員会／全国直売所研究会 ホームページ <http://chokubaiken.org>

実行委員長 吉田 修(三重県)

副委員長 三浦 俊荘(大分県)

審査委員長 鎌田 定宗(茨城県)

実行委員 澤川 宏一(山形県) 清田 雅人(新潟県) 長谷川 久夫(会長・茨城県) 張谷 和弘(岡山県) 山口 成美(長崎県)

事務局

〒東京都中野区中野5-32-4(有)ベネット内 担当 青木 隆夫 中村 節子

TEL 03-5913-2627 FAX 03-5913-2628 venet@nifty.com (ご質問等はなるべくメールでお願いします)

後援予定

農林水産省 (一財)都市農山漁村交流活性化機構

直売所甲子園から得られるもの

- ◇ 全国での取り組みを知り、「できる！」勇気とアイデアが生まれます。
- ◇ 比較することで地元の良さが再確認できます。
- ◇ ベンチマークする施設を発見し、経営の具体的な目標が設定できます。
- ◇ 全国の「直売人」たちとの友情が育まれ、商品交流が進みます。
- ◇ プレゼンテーションの準備や本番での発表は従業員教育に役立ちます。



直売所甲子園 2013 より



直売所甲子園では、活動の原点・コンセプトの作成、担い手対策、そして販売促進に役立つ様々な取り組みが紹介されます。参加することで皆の経験を共有し、学び、気づき、進むべき道が拓けます。

活動の原点・コンセプトを知る

直売所の使命

① 経済(農家の自立)

② 健康・文化
環境 未来

③ 生産に嬉しい販売
安全で美味しい
野菜作り挑戦
全・春のシンボル

④ 3つの視点+交流
① 品揃え (多品目・周年化・差別化)
② 品質・安全の見える化
③ 加工品の充実・活用
農家とお客さんとの交流

信頼 ⇒ “集客”

満足度を高める直売所作りに挑戦

明るい未来

高齢者を生かし、後継者を育てる活動の実際

現在まで13期生の誕生
350名を超える参加者
となりました！
毎月1回農業を体験し
家庭菜園などに挑戦！

酒まんじゅう

年間約7千万円の売り上げ

～この直売所の将来性～
次世代の育成

新しい商品開発の実際、そして開発の苦心

あぐり・ジュパン

- ・米粉を使ったパン
- ・果物・野菜を使ったパン
- ・搾り立て生ジュース

新しい品目の取り組み(農家)

パイナップル
チェリモヤ

これらの新しい作物を利用してジュースでは
アイスや洋菓子などの新商品を開発中です

地元農産物を原料として使用

ファンづくりのアイデア満載！

5月～9月 採作り体験
田植え～草取り～稲刈り

内子産で熱演！

大秋穫祭

アグリピック